

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【公開番号】特開2016-156373(P2016-156373A)

【公開日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-052

【出願番号】特願2016-6803(P2016-6803)

【国際特許分類】

F 0 4 C	25/02	(2006.01)
F 0 4 C	29/00	(2006.01)
F 0 4 C	18/18	(2006.01)
F 0 4 C	18/16	(2006.01)
F 1 6 H	55/06	(2006.01)
H 0 2 K	16/00	(2006.01)
H 0 2 K	21/14	(2006.01)

【F I】

F 0 4 C	25/02	M
F 0 4 C	25/02	K
F 0 4 C	29/00	T
F 0 4 C	29/00	U
F 0 4 C	29/00	B
F 0 4 C	18/18	B
F 0 4 C	18/16	H
F 1 6 H	55/06	
H 0 2 K	16/00	
H 0 2 K	21/14	Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月17日(2017.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対向して配置された一対の軸と、

前記一対の軸に設けられた一対のポンプローティと、

前記一対の軸に設けられ、磁石の異磁極を対向させて直接磁気カップリングを形成する一対のモータロータと、

前記一対の軸に設けられ、前記一対のポンプローテの同期をとるための一対のギヤと、を備え、

前記一対のギヤは、相互に非接触となるように前記一対のギヤの歯間のクリアランスが設定されており、

前記一対のギヤの歯間のクリアランスは、前記一対のポンプローテ間のクリアランスより小さく設定される、

真空ポンプ。

【請求項2】

請求項1の真空ポンプにおいて、

前記一対のモータロータの外周に配置された電機子をさらに備え、  
前記電機子は、前記一対のモータロータの外周に所定の間隙を保って楕円状に配置される、

真空ポンプ。

【請求項3】

請求項1又は2の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤは、潤滑剤が充填されていない空間に配置される、

真空ポンプ。

【請求項4】

請求項3の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤは、前記一対のモータロータが配置されるポンプ室内に配置される、

真空ポンプ。

【請求項5】

請求項3の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤは、前記一対のモータロータが配置されるモータ室内に配置される、

真空ポンプ。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤの少なくとも一方は、自己潤滑性のある材料で形成される、

真空ポンプ。

【請求項7】

請求項1～5のいずれか1項の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤの少なくとも一方は、樹脂で形成される、

真空ポンプ。

【請求項8】

請求項1～5のいずれか1項の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤの少なくとも一方は、表面に潤滑剤がコーティングされている、

真空ポンプ。